

講義名	ホスピタリティ英語			授業形態	
担当教員	山本 勝巳	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

海外から来目する外国人の数は増加しており、私たちの日常生活において海外からの観光客を目にする機会も増えています。そのような状況で仕事の場面を中心とした英語によるコミュニケーションの訓練を場面ごとに入門的・実践的に行います。

到達目標

- ・交通案内・ホテルでのチェックインといった場面ごとに必要な英語表現が適切に使えるようになる。
- ・ロールプレイングによって、実践的なコミュニケーションが行えるようになる。

提出課題

- ・オンライン/オフラインでの課題提出を求めることがあります。
- ・小テスト（複数回）

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

提出課題については講義内で確認します。小テストについては、解答後ただちにスコア等がオンラインで確認可能。

評価の基準

授業中の活動状況15%・ペア（グループ）ワーク15%・小テスト10%・定期試験60%
 * 正当な理由のない提出遅れについては毎回1/20のポイント減となります。
 * 時間外の小テストについては設定された期間を過ぎると受験できません。

履修にあたっての注意・助言他

授業には積極的に参加してください。英語の基礎力（語いおよび文法）を高めるよう努力してください。規定以上の出席欠席すると単位が認定されません。出席管理は自分で行うこと。講義外での学習・受験も必要です。

教科書

.Hospitality on the Scene 現場から学ぶ観光英語の実践レッスン.	上杉恵美 / 阿部佳 / 淵東史江 / 神末武彦 / 松島康彦 / Jacob Shere 著	金星堂	2,530	9784764740679
--	---	-----	-------	---------------

参考図書

.なし.				
------	--	--	--	--

その他

授業中に適宜資料を配布します。

授業計画

1. ガイダンス・Unit 1
2. Unit 1
3. Unit 2
4. Unit 3
5. Unit 4
6. Unit 5
7. ペアワーク作業・Unit 6
8. ペアワーク発表・Unit 6
9. Unit 7
10. Unit 8
11. Unit 9
12. Unit 10 & 11
13. Unit 12 & 13・グループワーク（1）
14. Unit 14・グループワーク（2）
15. グループワーク（3）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：各自に指定するテキストの範囲を読み、指定の練習問題を解答しておくこと（2時間程度）
 + 次回範囲の単語・意味調べ（1時間程度）
 復習：指定の小テストを解答しておくこと（1時間程度）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

場面ごとに適切なやり方で「人と円滑なコミュニケーションをとることができる」ことを目指し、「顧客満足を得るために必要なホスピタリティとコミュニケーション力」の修得を目指します。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

教材配布・小テスト・期末試験の実施にはLMSを利用する予定です。

実務経験の有無及び活用

備考